

下水道分野におけるウォーターPPP ガイドライン策定検討委員会

第 1 回 議事概要

日 時：令和 7 年 7 月 16 日（水）10:00～12:00

場 所：TKP 東京駅カンファレンスセンター ホール 8A

【議事概要】

策定検討委員からの主要な意見は次のとおり。

○資料 3 審議事項について

- 重大事故について単純に官側がリスク分担を負うという単純な結論ではなく、情報開示等を踏まえて民間が分担できるリスクを分担してもらうということも重要であり、双方にとって過剰なリスク分担にならないように適切なリスク分担の在り方の検討が必要と考える。
- リスク分担の在り方の検討だけでなく、設定したリスク分担に基づき要求水準書や契約書等に反映方法についても検討が必要となると考える。
- 大規模陥没をふまえたリスク分担について平常時と緊急時の取り扱いを踏まえた検討が必要と考える。
- リスク分担については、施設ごとの状況を踏まえて適切な判断を行う必要があると考える。
- 点検から工事に至る時間軸の中での適切なリスク分担や段階的な対応が必要ではないかと考える。
- 広域化・他分野連携について検討に資するように、規模によるメリットの発揮等の効果や、ポイント・留意点を記載することが必要と考える。
- 広域化・他分野連携について、特に小規模地方公共団体を意識した推進のあり方の検討が必要と考える。
- 広域型や分野横断型のウォーターPPP を検討するにあたり、地方公共団体側の体制や指揮命令系統の考え方などの検討も必要と考える。
- 広域化においては、地方公共団体間の調整も課題でありその考え方についての整理も必要と考える。
- 広域化・他分野連携について特に段階的な導入を想定した場合等の随意契約の活用を意識する必要がある。
- 広域化においては、地方公共団体側でのデータ整理等の官側での準備が必要である点について記載の補足が必要と考える。

- 受託者不足という課題もあり、広域化における民間事業者等による受託方法についても検討を深堀する必要があると考える
- 広域化の検討については、民間任せとならないように、官側での技術継承や人材育成の取り組みについての視点も必要と考える。
- ウォーターPPP にこれから取り組む地方公共団体の検討に資するように、検討の具体的なスケジュールを示すことが必要と考える。
- 次期にコンセッションへの移行を検討する場合の必要な準備や留意点等を示す必要があると考える。
- 後発の地方公共団体が検討するに際して参考となる先行する地方公共団体での取り組みについて、実際の検討で生じた課題等の情報の拡充が必要と考える。
- 事業の効率性確保やコスト削減の観点から、対価の設定方法の考え方や事例等を示すことが必要と考える。
- 地元企業の育成活用についても記載の拡充が必要と考える。
- 紛争時の仲裁の役割の記載も必要と考える。
- 更新支援型を受託する民間事業者において、施設更新部分の受注の可否について記載の補足が必要と考える。
- 積極的に新技術を検証・普及させていくために、VFM 以外の導入効果について促進するため記載が必要と考える。

以 上